

寿都町対話の場(第11回)

日時 2022年7月21日(木) 18:30~

場所 寿都町総合文化センター ウイズコム

次第 ① 文献調査の進捗状況の説明と質疑応答

② 会員間による意見交換 ほか

(凡例)

会員

NUMO
エネルギー
部

はじめに | 事務連絡など

前回「エネルギー政策について」における質問への回答

Q1

全体でどのくらい
のエネルギーが必要か

2019年度(確定値)
1兆240億kWh
2030年度(見込み)
9.340億kWh

Q2

再生可能エネルギー
の電源構成は?

太陽光: 7.9%
水力: 7.8%
バイオマス: 2.9%

風力: 0.9%
地熱: 0.3%

Q3

寿都町の風力発電
は地元では使えない。

再生可能エネルギー
を増やすためには
国の制度を変える
ことが必要では。

電気の地域供給
使用に制度上の
制約はない。

寿都町の風力
発電は、設備上
の事情による。

議題① 文献調査の進捗状況の説明と質疑応答

2022.7.21 ③

仮に次の段階に進んだ場合、町にどのような影響(経済的)があるか?

P8
「この地域の住民の安心として有益な材料となる形で提供される」という部分について、詳しい説明をお願いしたい。

文献調査は2年と312あり、秋には終了と考えていた。実際にはいつ終了する見込みなのか?

住民投票はいつ頃予定しているか?

概要調査はボーリング、精密調査は地下の状況と相違、波及効果大きい。

地質専門的内容となる可能性あり。わかりやすく情報提供していく。

目安として2年程。明確なスケジュールは提供しにくい。

パンフレットだけで知識習得難しい。機会を増やして判断できるようにしていく。最低100所くらい候補必要。

経済的影響について、次の段階まで、具体的な数値があるとわかりやすいのでは。

「有益な材料」があれば、次の段階に進みやすいということか。

技術的・地質的内容となるので、理解を深めていく。

議題② 会員間による意見交換

2022.7.21 ④

① JAEA幌延深地層研究センター視察後の意見交換

・今後の展開について、すべきこと。六ヶ所村の視察も含めて

施設を見ての感想

動画内容について

視察を通じての今後の展開、こういうところを見なきゃ、という意見

幌延視察を含め、113113知派した。実際の地下施設を見学できたのは大変だった。地下は安全であることが改めて確認できた。

幌延の町の中の施設をじっくり見た。かたが、寒かった。人口の割には、113113な設備が整っている。

原子力施設の近くにメグミルクがあることに驚おどろいた。

近々、六ヶ所村訪問予定で、商工会の方々と意見交換し、JNFL施設を見学する。六ヶ所村の理屈と意見交換を行い、すり合わせた議論を行う。

地元の人々にも、視察の必要を説明している。是非、村民が六ヶ所村見学に行けるようにしてほしい。113113行けるようになる見込みか。(小人数で)

風力発電で電源を得ている。農業主体だと、補助金が多い。JAEAの施設の建設前に既にある程度の設備が3.214

100万年前の水が地表に上がってきて生活水を汚染することはあるか

取崩した当初は、水が出る。岩の中の水がしみ出てくるか。今はとれておさまり、乾いた状態にあると説明を受けた。

六ヶ所とは調整している。少人数グループ活動が広がりをもたせようとして継続する。

調整中。10月の113113。今回は商工会だが、他の業態への広がりも検討していく。

深い地層から上がってくることも否定できず、中々評価している

堆積岩は水と通じにくい。亀裂が走っているところは地下水が継続することもある

議題② ② 少人数グループの活動状況の共有

少人数というのは
商工会だけか？
他の業態では？
分野

他の活動への
展開（視察以外）

具体的に他の業態への
検討はない。まじりの関係
視察の希望を複数
もっている。中
今後の広がりも期待している。

核のゴミの問題。国に
とって大層な問題なのだから。
議員や選挙などで話題に
こねない。寿都・神楽内以外
にも関心をもってもらえるような
方法はないか？

どうしたらいいのかが。
まだまとまりはない。
こういう方法があるのでは
と言える段階にはない。

少人数グループの視察
若い人が少ない。
例えば、高校生（3年生？）
が見学に行くことは
できないだろうか。
若い層にも呼びかけてほしい。

関心を持ってもらうこと
がまだうまくいっていない。
オープンな形でやっているが、
報道もあまりされない。
広報にも力を入れたい。
北海道以外でも手が挙がるように
したい。

シンポジウムや対話の場を
設けてきた。寿都町・神楽内
村以外から手が挙がるように
取り組んでいく。

議題② ③ その他

その他の活動として
考えていること

原発立地という観点からの
情報交換について

意見交換 勉強会を
進めよう。視察希望が
出ている。調整中のに死
あり。今後広がりをもてたい。
(まだ始めていた方が多いけど)

輸を担っているキーとなるのは
原発立地地域の人々との
対話ではないか？
電力会社が動くべきでは？

原発立地の人との対話
活動は不可欠な要素と
思う。

原発立地地域の住
民との意見交換希望を
あるので、進めていきたい。